



第 54 回京都色絵陶芸展

今回は、11月23日(金)～26日(月)の間、京都陶磁器会館にて開催していました、京都色絵陶芸協同組合・主催の「第54回色絵陶芸展」をご紹介します。

昨年に引き続き今年も、ここ京都陶磁器会館にて開催されました、「第54回色絵陶芸展」ですが、この展覧会は京焼・清水焼の色絵師と呼ばれる、器に絵を描く専門の職人さんたちの展覧会となっています。

高火度焼成した陶磁器の上に絵を描き低下度焼成で焼きつける「色絵」という、京焼・清水焼に代表される技法を用いた作品がほとんどで、とても色鮮やかな作品が並び、展示スペースを華やかに彩っていました。それぞれが生活シーンを彩り生活にマッチした独創性豊かな作品となっており、また、長年培われてきた高い技術をもって作り上げられ、一つ一つの作品に込められた思いや熱意が伝わってきます。



「色絵陶芸展」では毎年コンクールも開催しており、「京都府知事賞」をはじめ14の賞があり、今年も素晴らしい作品が受賞されております。(裏面は受賞作品一覧です。) 今回の展覧会では2階の



展示場も使用しており、1階のスペースにはお茶席等、休憩できるようなスペースを用意し、1階と2階展示場に様々な作品が並んでおり、1階・2階ともにとても見応えのある展覧会となっておりました。



期間中には、立命館大学茶道研究部の学生さんと京都府菓子工業組合青年部の協力による、お茶席も設けられ、自分の好きな抹茶碗でお抹茶をいただくことのできるイベントも開催されており、期間中はたくさんのお客様がお越しになりました。また、気にいった抹茶碗は購入することもでき、匠の技によって作り出された、京焼・清水焼でいただくお抹茶はとてもおいしいものでした。

京都陶磁器会館 事務局発刊

〒605-0864 京都市東山区東大路五条上ル遊行前町 583-1

TEL (075)541-1102 FAX (075)541-1195 WEB <http://kyototoujikaikan.or.jp/>

休館日 水曜日・木曜日 午前9時30分開館・午後5時閉館

京焼・うへだより

会館からあなたへ器に関する便り



Vol.42

第 54 回 京都色絵陶芸展 受賞者

京都色絵陶芸協同組合

賞	作者名	品種	作品名
京都府 知事賞	やぎ しんや	ふたもの	きんぎんさいわかまつもん
	八木 進也	蓋物	金銀彩若松紋
京都市 市長賞	おぜき こうせん	さんだんじゅう	はないし
	小関 弘泉	三段重	花石
京都商工会議所 会頭賞	てらだ かせん	かっぱあんどソーサー	ちんぶ
	寺田 嘉嗣	カップアンドソーサー	乱舞
京都新聞社賞	いりえ ゆうき	はないけ	あいのし
	入江 裕起	花生	藍の詩
京都陶磁器協会賞	おがき かずこ	こうろ	あさぎこうち きかもん
	小垣 和子	香炉	浅黄交趾 幾何文
京都陶磁器協同組合 連合会賞	おの たみえ	まっちゃわん	いろえ しっぽうもん
	小野 多美枝	抹茶碗	色絵 七宝文
京都陶磁器 意匠保護協会賞	かとう じゅすい	ようしゅせつと	ようちくもん
	加藤 如水	洋酒セット	瓔珞文
京都陶磁器 卸商業協同組合賞	なかむら すいらん	みずさし	むらさきこうち ひしおいまつ
	中村 翠嵐	水指	紫交趾 菱老松
京都色絵陶芸 協同組合賞	ほりおか みえこ	すーぷかっぱ	きんぎんさい からくさもん
	堀岡 美江子	スープカップ	金銀彩 唐草文
奨励賞	やぎ かいほう	みずさし	しっぽう そうか
	八木 海峰	水指	七宝 草花
新人賞	いわさわ ゆきこ	みずさし	きんさい ようらくもん
	岩沢 侑子	水指	金彩 瓔珞紋
スポンサー賞	やぎ しんや	ちやわん	ぎんすなごたけ
たち吉賞	八木 進也	茶盤	銀砂子竹
スポンサー賞	やぎ しんや	みずさし	たからづくしききんぶくる
岡八賞	八木 進也	水指	宝珠砂金袋
スポンサー賞 朝日堂賞	ひろた ゆり	こうろ	きんぎんさい あきくさもん
	廣田 友理	香炉	金銀彩 秋草紋



京都市長賞

小関弘泉 作：花石



京都陶磁器協会賞

小垣和子 作：浅黄交趾 幾何紋



新人賞

岩沢侑子 作：金彩 瓔珞紋

京都陶磁器会館 事務局発行

〒605-0864 京都市東山区東大路五条上ル遊行前町 583-1

TEL (075)541-1102 FAX (075)541-1195 WEB <http://kyototoujikikaikan.or.jp/>

休館日 水曜日・木曜日

午前 9 時 30 分開館・午後 5 時閉館